

学びの灯

ようこそ、広島都市学園大学 子ども教育学部へ

子ども教育学部には、様々な研究をされている先生方がいらっしゃいます。

このページでは、毎月、一人一人の先生方の思いや考え方などを記していただき、読んだ皆さんの心や頭に「学びの灯」をともします。

一つ一つの「灯」は、いくつか集まると、きっと大きな明るさとなり、皆さんの未来を明るく照らすものとなるでしょう。

また、ある「灯」は皆さんの拠り所となって、どんなときであっても、希望と温かさを保ち続けてくれるでしょう。

さらに、皆さんが「新しい灯」をともし、多くの人々の未来を明るく照らすことに役立つことでしょう。

さあ、今月は、どんな灯でしょうか？



『教える立場』に立つあなたへ

子ども教育学部 教職入門等担当教員 佛圓 弘修

教師や保育士を目指して日々学んでいるあなたにとって、黒板に向かって「教えられる立場」から黒板に背を向けて『教える立場』に立つということは、大きな転換点だといえます。

子どもたちのあどけなくも探求心に満ちて輝く瞳があなたを一斉に見つめたとき、あなたはその眼差しを一身に受け止め、いよいよ転換点を自覚し覚悟を決めることになります。

夢見た『教える立場』で教壇に立ち、初任者研修も突破してようやく2年目を迎えた若き女性教師の一年間の振り返りを紹介します。Aさんは「とびこめ」とばかりに校内の研究授業に立候補し自分をさらけ出しました。24歳のAさんはその中で何を感じ何を考えたのでしょうか。

「昨年度以上にあっという間の一年でした。今年度は研究授業に挑戦する機会をいただき、今まで以上に教材研究に努めることができました。思うようにいかず苦悩する毎日でしたが、校長先生や学年の先生方、職場の先生方に指導や助言をいただき、学びを深めることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。授業に関しては、学習リーダーの育成を目指して日々取り組むことで子どもたちの授業での関わり合いの様子に変化が見られるようになり、子どもたちと共に学ぶ楽しさを感じ、子どもたちと共に成長することができた一年でした。その一方で、自身の授業力不足を痛感した一年でもありました。子どもたちの発言をうまく整理することができない、生かすことができない、より学習が深まるようここぞというポイントで切り返すことができないなどなど、毎日反省ばかりでした。他の先生方の授業を参観させていただき、自身の無能さを痛感すると共に、たくさんのことをぬすませていただきました。子どもたちとの関わりに関しては、どのように褒めたり叱ったりしたらいいのか、またそうすることで子どもたちがどのような反応を示すか見えてこなかった昨年度に比べ、少しずつ子どもたち一人ひとりが見えてきて、この子には今はあえて距離をとってそっとしておこうなどと落ち着いて指導に当たることができるようになってきたように感じます。来年度はさらに一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、常に希望と期待をもってそれを伝えていきたいと思います。また、さらなる授業力、指導力の向上を目指すと共に、子どもたちの様子や変化に鋭く気付く力も磨いていきたいと思います。」

確かに苦悩する毎日であったろうと思います。けれど、その苦悩が子どもの日々の変化や成長につながっていることに気づいたとき、Aさんは教師という仕事の素晴らしさや遣り甲斐を改めて感じ始めています。私は幸運にもこの授業に立ち会うことができたのですが、A学級は算数大好き、みんな考えを出し合うことが大好き、そして先生も大好きという2年生の元気あふれる子たちでいっぱいでした。10のかたまりに着目して数の交換や結合をすると足し算がしやすくなるということをクラス全員の知恵を集めて問題解決できた楽しい授業でした。

本学で担当する授業科目「教職入門」では、小学校や幼稚園、保育所などでの現場の教師や保育士たちの熱い息遣いを沢山届けていきます。そして、近い将来、『教える立場』に立つあなたが夢とロマンをもって自らも成長できることを精一杯後押ししていきたいと思っています。